

としま 議会だより

令和元年 6月 発行（年 4 回発行）Toshima Village Council

2019.06. No.85



▲三反園知事と村議会意見交換会の様子（4月30日撮影）

TOPIX

● 平成 31 年 3 月定例議会

- ・ 3月4日～3月13日（10日間）
- ・ 当初予算など 40 案件を審議
- ・ 全て全会一致で可決

● 一般質問について

永田和彦議員

「急患搬送について」

田中秀治議員

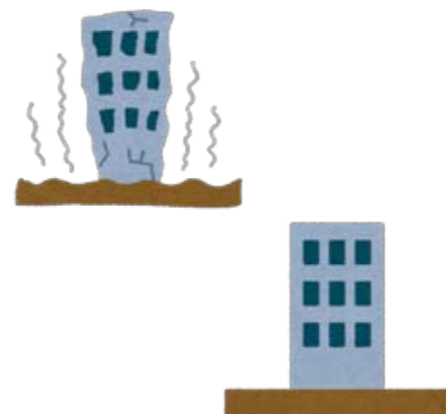
「観光振興・農業振興について」

写真募集中！

議会だよりの紙面を飾る写真を募集しています。島の風景や行事など魅力ある一枚をお待ちしています。お問い合わせは議会事務局まで

条例の制定・一部改正

- 十島村職員の給与に関する条例の一部改正
平成30年度の人事院勧告、及び鹿児島県人事委員会の勧告を踏まえ、本村職員の給与の適正化を図るため条例を改正するもの。
- 十島村特別会計条例の一部改正
これまで、村内診療所の運営を一般会計の中で計上していましたが、収益があり、事業費の規模も大きかったことから、診療所の運営費を特別会計として計上することとしたもの。事業に要する経費を独立した会計で運営することで、事業に要する費用を把握しやすくなり、情報公開、経費節減のほか、保健活動にも繋がっていくものと期待されます。
- 職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正
時間外労働の上限規制等が導入される民間労働法制や、それを踏まえた国家公務員の取扱いを踏まえ、時間外勤務の縮減に向けた規定を設けるために改正するもの。
- 十島村国民健康保険税条例の一部改正
国民健康保険の保険者が県に移管することに伴い、所要の改正をするもの。
- 十島村消防団条例の一部改正
消防団の消防力の強化、及び団員を確保するため、年齢を引き上げるために条例改正をするもの。
- 十島村国民健康保険税条例の一部改正
- 十島村ひとり親家庭医療費助成に関する条例改正
平成30年1月1日から、所得税法等の一部を改正する等の法律により、「控除対象配偶者」の名称が「同一生計配偶者」に改められていることに伴い、所要の改正をおこなうもの。
- 十島村道路占用料徴収条例の一部改正
鹿児島県道路占用料徴収条例の見直しに伴うもの。
- 十島村簡易水道事業に関する布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部改正
- 十島村畜産施設の設置及び管理に関する条例の一部改正
平島家畜保護施設3号棟、宝島共同利用施設3号棟を追加するもの。



契約の締結

- 十島村庁舎耐震補強改修工事請負変更契約の締結
契約目的：十島村庁舎耐震補強改修工事の請負変更契約
変更契約金額：4,805,030円増の総額75,005,030円
契約相手：株式会社南防 代表取締役 原田 毅
- 小宝島港泊地浚渫工事請負変更契約の締結
契約目的：小宝島港泊地浚渫工事の請負変更契約
変更契約金額：6,500,000円増の総額103,700,000円
契約相手：竹山建設株式会社 代表取締役 竹山 博昭

十島村議会 平成31年3月定例議会 議決結果

40 案件を審議 全て全会一致で原案のとおり可決しました。

開催期間	3月4日(月)～3月13日(水)(10日間)	
審議した案件	・村長提出議案 40件	
可決・採決状況	・原案可決 40件	
可決した主な議案	・平成31年度当初予算について(7件)	・権利の放棄について(1件)
	・平成30年度補正予算について(6件)	・指定管理者の指定(12件)
	・条例の制定について(1件)	・契約の締結について(2件)
	・条例の一部改正について(9件)	・認定(1件)・その他(1件)

平成30年度補正予算

○ 一般会計	補正第7号	+240,049千円	→	補正後	5,345,992千円
○ 国保特会	補正第3号	△240千円	→	補正後	150,215千円
○ 船舶特会	補正第3号	△49,207千円	→	補正後	1,142,379千円
○ 介護特会	補正第2号	△6,632千円	→	補正後	91,865千円
○ 簡水特会	補正第4号	△25千円	→	補正後	79,239千円
○ 後期特会	補正第1号	△1,369千円	→	補正後	6,228千円

平成31年度当初予算

○ 一般会計	43億308万0千円	(前年度比：△5億9075万5千円)
○ 国保特会	1億2555万6千円	(前年度比：+1873万9千円)
○ 船舶特会	10億8321万6千円	(前年度比：+6447万2千円)
○ 介護特会	8780万1千円	(前年度比：△245万6千円)
○ 簡水特会	6715万7千円	(前年度比：+1104万9千円)
○ 後期特会	729万8千円	(前年度比：△29万9千円)
○ 診療特会	2億390万0千円	(前年度比：+4215万7千円)

診療所の運営を特別会計にしたこと(△約1億6千万円)が大きく影響しています。

一般質問



永田和彦議員

・ドクターヘリの搬送先について
 ・各診療所におけるの救急患者に対応するマニュアルの整備について
 ・大島病院から鹿児島島の病院へ転院を希望する際の、費用助成の創設について

問 平成28年12月にドクターヘリの運用が開始され、二年が経過しました。本村で発生する救急患者は、大半が奄美向けの搬送になるかと思われます。しかし、住民の中には鹿児島島への搬送を望む声も多くあります。住民が奄美への搬送に対して何に不安を抱いているのかを調査し、その不安の軽減のための情報提供を行う必要があると考えるが、村長の考えを伺う。

村長 北部に位置する島々から、鹿児島本土への搬送を望んでいる声があることは、承知している。しかし、急患の場合は一刻を争う患者の生命に関わる重大な問題がある。収容後のことを考えると、何かと不安や不便を感じると思うが、患者の生命を守るといふ使命と、まずは痛みや苦しみから早く解放することを第一に検討するべきであると考えている。今後、病院

指定管理者の指定

- 十島村共生型サービス拠点施設及び十島村介護予防拠点施設 (株式会社マッシュ 代表取締役 新田司)
 - 十島村高速観光船「ななしま2」 (一般社団法人宝島 代表理事 竹内功)
 - 瀬良馬温泉施設 (口之島自治会長 池田義市)
 - 中之島温泉 (中之島集落会 代表 永田和彦)
 - 平島家畜保護施設3号棟 (平島畜産組合長 日高重光)
 - やすら浜港クレーン式上架施設 (悪石島自治会長 有川和哉)
 - 宝島畜産施設 (宝島畜産組合長 平田浩一)
 - 中之島高尾地区集出荷施設 (中之島農産物生産組合長 埜口裕之)
 - 諏訪之瀬島被覆栽培施設 (諏訪之瀬島生産組合長 秋庭ナラ)
 - 悪石島被覆栽培施設 (悪石島自治会長 有川和哉)
 - 平島南之浜地区製氷施設 (平島自治会長 日高守)
 - 宝島前籠地区製氷施設 (宝島製氷組合長 平田良郎)
- 計 12 件

条例の制定

- 十島村医療従事者住宅の設置及び管理に関する条例の制定
 これまで、へき地診療所と医療従事者住宅については、同一施設として管理運営されてきたが、診療所看護師2名体制の実施に伴い、中之島医師住宅も含め、住宅と診療所を分割して管理運営を行うため、医療従事者住宅の設置及び管理に関する必要な事項を定めるもの。



その他

- 十島村道路線の認定について (悪石島シシガ山線)
 近年、豪雨により道路災害が数多く発生しており、適切で安全な道路環境の維持をおこなうため、村道シシガ山線として村道認定することにより、健全な道路管理に努めようとするもの。
- 権利の放棄について (十島村黒毛和種優良肉用繁殖雌牛預託事業)
 十島村黒毛和種優良肉用繁殖雌牛預託事業により導入した繁殖雌牛が、感染症により死亡したことから、金銭債権を放棄しようとするもの。
- 辺地に係る総合整備計画の変更について
 平成29年度から5年間の辺地計画について、今回、新たに事業の追加、及び事業費の変更を行うもの。



田中秀治議員

・観光振興について
 ・農業振興について

問 平成30年4月からフェリーとしま2が就航し、11月には悪石島のボゼがユネスコ無形文化遺産に登録され、これまで以上に観光客が増えることが予想されるが、各島とも慢性的な宿泊施設不足が続いている。観光振興上重大な問題であり、この現状をどのように改善していくのか。

村長 近年の民宿の開業状況については、平成26年以降では、口之島で1件、悪石島で2件の計3件が開業しており、また口之島では2件の増築が見込まれている。しかし現状のままでは宿泊施設の不足が解消される状況ではなく、村の観光振興においても重要な問題であると捉えている。今後多くの議論や対策の検討が必要であると認識している。具体的には、現在の住宅資金貸付制度に企業も対象とする事の検討や、貸付金額の上限の引き上げ、保証人数の見直しなどがあげられる。

問 以前民泊制度を活用するため、広報周知を行っていききたいとの事であったが、現在どのような状況になっているのか伺う。

村長 民泊制度の広報周知については、平成

30年度の村政座談会で説明し、8月発行の「広報としま」でも住民への周知を行った。本村においても、数名の方が申請をする動きがあったが、現在まで民泊の営業申請はない状況である。申請のない主な理由としては、家屋の登記、家屋の図面、災害に備える安全装置等が届け出義務となっており、また2か月ごとに実績の報告が課されることなどがある。

問 宿泊施設不足対策として、各島に自炊のできる、キャンピング場を造るべきではないか。

村長 宿泊施設が不足の中で、キャンピング場を利用するという選択肢はあると考える。しかし、キャンピング場を整備した場合、管理体制の問題や、天候、災害等の影響を受けにくい建設候補地の問題などがあり、現実的に厳しいと考える。

問 農業振興について、中之島高尾地区に整備された農地施設があるが、現在殆ど使用されずにいる。この施設をこの先どのように活用していくか伺う。

村長 高尾地区の農業用施設については、平張施設を15棟、ビニールハウスを1棟整備している。当初、柑橘類のタンカンを中心に栽培していくことを目指して、280本の苗を植え付けた。間作として生姜やニンニク等の作物を推奨してきたが、商品化する作物の栽培には不向きな条件が重なり、現在に至っている状況である。また高尾農地の衰退については、気象条件も当然に影響しているが、就農する人材の減少が大きな要因だと考えられる。この農地を活かすためには、人材確保が第一条件となる。Uターン者の確保を積極的に進めるとともに、地元住民への就農希望も積極的に呼びかけていきたい。

〈総務課〉

ふるさと納税推進事業について

寄付金が減少している要因として、台風などの自然災害により、返礼品となる農作物の出荷が少なくなっていることがあげられる。関係課と連携し、不足品の解消に努めていく。

ブロードバンドの活用について

将来的に高齢者の見守りや安否確認などにも活用していきたい。そのためにも、ブロードバンドの利用促進に努めたい。

地域情報化推進事業について

パソコン支援員による個別支援については、パソコンの使い方が分からない方がいる場合、支援員が自宅に訪問し、指導していただいている。ブロードバンドを導入した際に設置した事業であるが、年々利用者については減ってきている。

地域づくり活動について

平成30年12月に宝島において、地域づくり代表者会議を開催し、各島取り組み状況や計画等情報交換が行われた。

今後においても人材育成に力を入れてほしい。しかし若い世代においては、地域づくり事業に関心はあるが、家庭的・経済的に余裕がない中で研修等に参加する時間がない等の課題もある。できる範囲で構わないので、取り組みを呼びかけたい。

消防団の活動状況について

活動状況については、年々活動が少なくなっている分団も見受けられる。毎年開催している分団長会議で、ヘリポートの伐採や小型動力ポンプの点検等も含め定期的に行うよう指導している。研修についても、多くの方々に受講していただけるよう訴えていきたい。また消防団だけでなく、自主防災組織も含めた地域一体となった強化が必要であると考えます。

〈地域振興課〉

村営住宅の管理について

日常の維持管理を徹底していただくよう、入居者には文書や口頭でも通知している。村としては今後も、入居者に

村道の管理について

近年、道路災害復旧工事が多く発生している。主な要因としては、側溝の水が路肩に流れることで決壊が起きている。今後現業職と調整し、対策を講じたい。

〈住民課〉

風疹予防接種事業について

この事業については国が予算化しているもので、昭和37年〜昭和54年生まれの男性を対象に予防接種法に基づく定期予防接種の対象として3年間取り組んでいくものである。まずは抗体検査を受けることを推進していく。

地域自殺対策事業について

電話相談事業、普及啓発事業、深夜電話相談強化事業を実施する。中身としては、心の相談窓口の設置として、24時間365日住民の心の相談を住民課臨時職員1名と宿直者2名に心の悩みを持った方への対処方法やつなぎ方のゲートキーパー研修を受けてもらい、心の相談窓口になつていただき、その方々の

答 問

今後においても人材育成に力を入れてほしい。しかし若い世代においては、地域づくり事業に関心はあるが、家庭的・経済的に余裕がない中で研修等に参加する時間がない等の課題もある。できる範囲で構わないので、取り組みを呼びかけたい。

答 問

活動状況については、年々活動が少なくなっている分団も見受けられる。毎年開催している分団長会議で、ヘリポートの伐採や小型動力ポンプの点検等も含め定期的に行うよう指導している。研修についても、多くの方々に受講していただけるよう訴えていきたい。また消防団だけでなく、自主防災組織も含めた地域一体となった強化が必要であると考えます。

答 問

日常の維持管理を徹底していただくよう、入居者には文書や口頭でも通知している。村としては今後も、入居者に

答 問

賃金や委託料を予算計上しているものである。

答 問

福祉事務所の開設について、福祉事務所長(課長兼務)1名、専門職1名、介護・子育て担当(兼務)2名の4名体制となる予定である。

〈教育委員会〉

JETプログラム事業について

昨年度から、日本語の話せるALTが5名配置されている。島での生活は、多世代交流施設の訪問をしたり、朝は登校指導、また英会話教室の開設を試みたり、多岐にわたった活動をしてきている。大変ありがたく、当初想定していた子どもの指導だけでなく、今後地域にもいい影響が出てくると考えられる。

答 問

トカラ馬について

昨年度喜界島に送り、大変喜ばれた。しかし観光資源として本村でも活用することについては、難しい面もある。日本古来の馬であり天然記

対して自分の財産であるという意識の中で利用してもらうよう働きかけていきたい。

村営住宅の移動について

子どもが生まれた世帯や、子どもが巣立った世帯については住居の移動をお願いすることがある。入居する際に協定書を交わしているが、併せて平成30年からは毎年年度協定書も徴収しており、入居者の人数に見合う広さとなる適した住宅に移ってもらうことがある旨の同意をいただいている。各入居者の家族構成は把握しており、基準を基に可能な範囲で話を進めている。

有害鳥獣対策事業について

平成30年度は16頭の捕獲実績があった。村の制度を使わず、個人で売買しているケースもある。

トカラ地域産物高付加価値化事業について

平成31年度から3か年計画でNPOへ委託を予定する事業である。各島で加工に係るチームの育成を図り、新し

い加工品、商品づくりのための農作物の成分分析や掘り起しを行っていく。平成31年度は中之島、宝島を始め、毎年2〜3島を目処に3か年で全島のチーム育成を行っていく。

島めぐりマラソン大会について

多くの人に村を知ってもらう機会となるイベントである。昨年度は新船就航に伴い14名の参加であった。島外参加を10名増やし、島内参加をPRする観光の一大イベントであることから、今後も島外向けのPRイベントとして情報発信を行いたい。

〈土木交通課〉

松枯れ木の対策について

平成31年度については宝島地区の危険木伐採を計画している。各島において昨年度の台風において被害が増加した事は把握している。財源を検討しながら他の島も対策を進めたいが、危険度を考慮して今年度は宝島で進めたい。

答

高齢者の訪問・相談について、各地域の高齢者見守り支援員の人員について、平成30年度は新たに6名の支援員の育成を行った。地域内の支援員の確保ができれば良いが、今後は外部からの支援も検討していきたい。

水道メーターの更新について

水道メーターは8年周期で更新しなければならぬ。前は平成23年度に行っており、平成31年度が更新の時期にあたるものである。

〔へき地診療所運営事業 特別会計〕

看護師2名体制時の業務体系について

医療と介護分野での完全な棲み分けは行わず、正・副でどちらも担う形とする。現在、各診療所において業務に、各診療所において業務に、関係するマニュアルはないが、今回をいい機会と捉え、各関係機関の協力も頂きながら業務マニュアルを作成したい。

〔国民健康保険特別会計〕
特定健康診査事業について

受診率は島ごとにばらつきがある。〇之島の受診率が低いことから、平成31年度については、〇之島での受診をより促していきたい。なぜ受けなかったのか、どうしたら受けるのか等のアンケートを実施するなどし、調査、分析を進めたい。各島においても看護師が積極的に声掛けをしており、連携を取りながら受診率の向上につなげたい。

〈特別会計〉

〔国民健康保険特別会計〕
特定健康診査事業について

受診率は島ごとにばらつきがある。〇之島の受診率が低いことから、平成31年度については、〇之島での受診をより促していきたい。なぜ受けなかったのか、どうしたら受けるのか等のアンケートを実施するなどし、調査、分析を進めたい。各島においても看護師が積極的に声掛けをしており、連携を取りながら受診率の向上につなげたい。

〔船舶交通特別会計〕

水曜日出港便について
平成31年度においても昨年度同様、15便を計画している。平成30年度の水曜日出港便については、全て消化できている。

〔介護保険特別会計〕

総合相談事業について

平成31年度
当初予算

一般会計歳出総額 **43億308万円**

—前年度と比較し、590,755千円の減—

共同販売所兼給油施設の建設など

総務費 12億984万2千円

携帯電話等エリア整備事業、本庁舎等耐震工事、口之島住民センター解体事業の減額が大きく影響。また、観光ツアーの実施や悪石島に共同販売所兼給油施設を建設するための予算を計上。

風疹予防接種事業など

衛生費 1億6461万9千円

前年度比、1億331万1千円の減。この減額は、特別会計の設置に係る診療所の運営に関係する経費が影響している。新規では、地域自殺対策事業や、風疹予防接種事業を計上。

ボランティア受け入れ施設の整備など

商工費 1億352万円

悪石島の砂蒸し温泉整備や、宝島のボイラー換装。悪石島のボランティアの受け入れ施設や宝島観光客受け入れ施設の整備支援、また観光案内板の更新などについての予算を計上。

防災行政無線整備事業など

消防費 2億6661万1千円

防災行政無線のデジタル化整備費の減額。防災専門官の報酬、地域防災マネージャーの配置、また消防団設備整備事業でAED及びトランシーバーの導入費用の計上。

その他当初予算(歳出)の主なもの

議会費 4929万7千円

議員報酬、議会旅費、事務的負担金 など

民生費 2億6483万1千円

福祉事務所費、生活保護費、ごみ処理施設整備 など

労働費 577万2千円

採草地実証 など

土木費 9億6378万円

補助港湾建設事業、地域再生計画事業 など

教育費 3億4971万5千円

JETプログラム事業(ALT講師派遣)、山海留学・PR事業、小学校維持補修費 など

〈特別会計〉

国民健康保険特別会計 1億2555万6千円

船舶交通特別会計 10億8321万6千円

介護保険特別会計 8780万1千円

簡易水道特別会計 6715万7千円

後期高齢者医療特別会計 729万8千円

へき地診療所運営事業特別会計 2億390万円

議会事務局
編集
議長 松下直志
副議長 永田和彦
委員 日高久志
委員 前田功一
委員 日高助廣
委員 田中秀治
委員 坂元勇
委員 矢野紀道